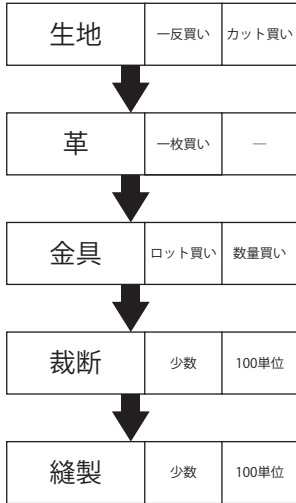


カバンができるまで



11/22資料

”「販売プライス」

『個人メーカー仕入れ掛け率30%』が目標というところから想定上代を「¥7000円～¥10000円」にする。

#「ターゲット」

圧倒的に女性向けの方が購買量が多いところから「テキスタイルの好きな女性」にする。

\$「共通発注の仕様」

バック仕様型数：1 資材1：メイン生地3color
資材2：持ち手：3color 資材3：裏地2 colorと想定。

近藤氏、仁井氏の経験から何故そうなのかという理由付けのもと参加メンバー全員で話し合った結果、次回に向け進歩的に方向性を確認する。

◎「松尾彰善氏による〈生産を考えるセミナー〉 & 第3回研究会」

11月22日大阪化繊会館にて16名参加。

Bag Mfr.レディース・アイ代表取締役 松尾彰善氏による「生産を考えるセミナー」が行われました。

バック製造業を営む松尾氏にバック生産工程の「企画—発注—型紙製作—裁断—縫製—検品—値札付け袋入れ」についてそれぞれの行程とそれに携わる職人さん達の仕事に対するこだわりを話して頂きました。

研究会には松尾氏も加わって頂き、対話形式でバックのスタイル・発注システム・数量コスト・資材種決定等、バック生産発注に必要な行程を話し合いました。近藤氏、仁井氏よりバック仕様候補案、発注する為のフォーマットサンプル、生地サンプルの提示があり個々の参加者がどういった鞆をつくるかイメージを具体化するための研究を行いました。

今後のスケジュールは2009年1月に開発サンプル試作。2月にサンプルアップ。3月には報告会とビジネスプロジェクト発足。講演会開催。4月に次年度計画オリエンテーションと続き、個人商店としてのステップアップの為に引き続き研究を推進していく予定です。(佐々木 尚)

— アピコメプロジェクト オリジナルbag 発注書 '09

●皮革		[品番:]		[素材:]	
A		B		C	
●無地生地		[品番:]		[素材:]	
a		b		c	
●裏地生地		[品番:]		[素材:]	
あ		い		●他資材	
●使用イメージ			●柄		
SAMPLE			●備考		
□発注者		□発注数			
氏名: [] 会員No. []		TEL: [] FAX: []		日付 年 月 日	
連絡先: 〒 []		TEL: [] FAX: []		No. [] / 全 [] 枚	
mail address []		〒 [] (上記と同じ)		★管理者記入枠	
氏名: (会社名) []		TEL: [] FAX: []			
連絡先: 〒 []		TEL: [] FAX: []			
TEL: [] FAX: []					